

神戸中学校だより

目指す学校像:『明日も行きたい・明日も通わせたい・明日も協力したい学校』

中体連に向けた壮行会を行いました

6月24日(水)5限目に壮行会を行いました。運動部は、鈴鹿地区総合体育大会、文化部は8月に行われる全国大会予選のコンクールに出場するみなさんを激励しました。まずは、会の開始にあたって私のほうから、3点について話をさせていただきました。1点目は、大会までの間の健康管理をしっかりと行うこと。2点目は、全力を出し切ること。緊張したり、調子が悪く思うようにプレーできなかつたりした時は、自分たちを応援している人たちの姿(ベンチの人たちや、応援席での家族や友だち)を見なさいと。その姿から力をもらい、全力を出せるようになるからと言いました。3点目は、家族やチームのみんな、顧問の先生方への感謝の気持ちをもって大会に臨んでほしいと。以上3つのことを冒頭のあいさつで伝えました。次に各部より目標や意気込みを堂々とした姿で発表していました。また、どの部活も支えていただいた方々への感謝の気持ちを伝えていました。各部の発表後には、激励の気持ちのこもった大きな拍手が館内に響いていました。どの部活も一生懸命競技に、コンクールに臨んでほしいと思います。

女子ソフトテニス部



野球部



サッカー部



女子卓球部



陸上部



男子ソフトテニス部



男子バレーボール部



女子バスケットボール部



男子卓球部



ブラスバンド部



剣道部



ソフトボール部



男子バスケットボール部



女子バレーボール部



柔道部



合唱部



ある日の新聞より・・・。



「できない」を打ち破れ <愛知県 12歳>



「人にできて、君だけにできないなんてことあるもんか」。

これは国語の授業で見つけたドラえもんのことばだ。僕は何かに挑戦するたびに、「どうせ無理だ」と自分で自分の限界を決めてしまうことがあった。周りの人が当たり前でできていることができないと、落ち込んであきらめてしまうことも少なくなかった。

しかしこの言葉は、僕の心を強く揺さぶった。特別な才能があるかどうかではなく、自分を信じて一歩踏み出すことの大切さを教えてくれているように感じた。「できない」と思っているのは、他人ではなく自分自身だ。この言葉に出会って、自分の可能性を自分で否定するのはやめようと思った。」

これからは困難にぶつかっても、「自分だけにできないものなんてない」と心の中で唱えてみたい。そうして少しずつでも、自分の「できない」を「できる」に変えていく努力を続けていきたい。